

住宅着工は前年比マイナス圏で推移 輸出が5カ月ぶり増加

7月の住宅着工戸数は、前年同月比▲44.3%の822戸となった。駆け込み需要で急増した3月からの反動減が依然として続いていることや、加速していた住宅需要が落ち着いてきているとみられる。

7月の輸出額は前年同月比+9.5%の38億87百万円で5カ月ぶりのプラスとなった。

各指数の矢印については
現状の景況感をあらわす。



上向き



横ばい



下向き

鉱工業生産指数



2カ月連続で前月比低下(6月)

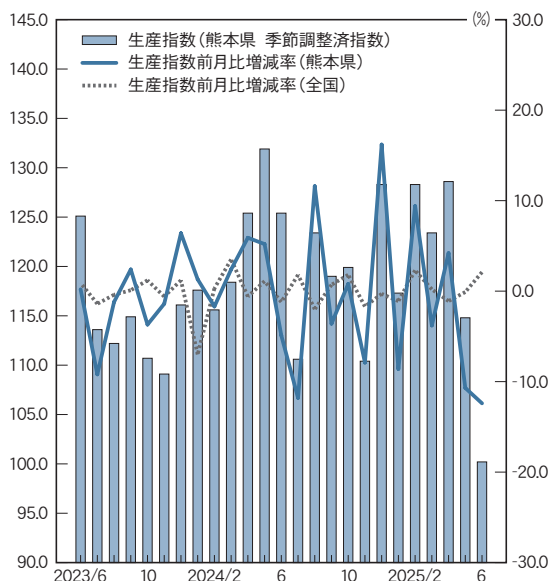
6月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、速報値で前月比▲12.4%の100.2となり、2カ月連続で前月から低下した。

生産指数(季節調整済)を業種別にみると、汎用・生産用機械工業(前月比▲18.3%)、電気機械工業(同▲55.9%)、パルプ・紙・紙加工品工業(同▲20.7%)など11業種が低下した。一方、化学工業(同+8.9%)、電子部品・デバイス工業(同+16.8%)、プラスチック製品工業(同+12.6%)など6業種が上昇した。

業種別寄与度を見ると、汎用・生産用機械工業が▲6.01ポイント、電気機械工業が▲3.83ポイントとなり、全体の生産指数を押し下げた。

出荷指数(季節調整済)は前月比▲6.4%の107.8となり、2カ月連続で低下。在庫指数(同)は同▲7.6%の88.6で2カ月ぶりに低下した。

鉱工業生産指数前月比 (2020年=100 季節調整済)



※最新月は速報値

資料：熊本県統計調査課、経済産業省

住宅着工



着工戸数は4カ月連続で前年比マイナス(7月)

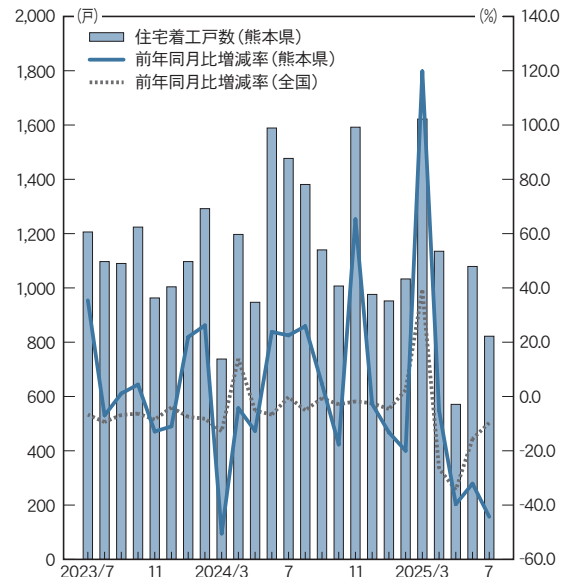
7月の新設住宅着工戸数は、前年同月比▲44.3%の822戸となった。

省エネ基準の適合義務化や、4号特例の縮小による駆け込み需要で急増した3月からの反動減が続いていると見られる。

利用関係別にみると、持家が305戸（前年同月比▲27.2%）、貸家は401戸（同▲46.2%）、分譲は109戸（同▲60.1%）であった。貸家と分譲の減少幅が大きかった。

全国の7月の新設住宅着工戸数も、61,409戸（同▲9.7%）と4カ月連続の減少となった。

新設住宅着工戸数前年同月比



資料：国土交通省

公共工事



請負金額は前年比プラス(8月)

8月の公共工事請負金額は253億80百万円で前年同月比+11.4%となった。

公共工事請負金額前年同月比

以降は会員専用ページにて公開しております。

請負金額を発注者別にみると、国は81億15百万円（前年同月比+11.2%）、熊本県は15億67百万円（同+41.9%）、熊本市は22億4百万円（同+44.2%）、熊本市東区は55億78百万円（同▲9.8%）となっている。

地区別では県内11地区のうち、玉名地区、八代地区などの6地区が前年比でプラスとなり、熊本地区、球磨地区などの5地区がマイナスとなった。

[ご入会はこちらから](#)

(入力は数分で終わります)

[会員の方はこちらから](#)